

あいうえおの表ひょうで性格診断せいかくしんだん

～ あいうえおの表ひょうは1種類しゆるいではなかった!? ～

「あいうえおの表ひょうが書かけますか？」

「そんな簡単かんたん！ 馬鹿ばかにしているのですか？」

「それでは実際じつさいに書かいてみてください」

「あれ？ となりの人ひとの書かいた表ひょうは私わたしと全然ぜんぜん違うんだけど！ 何なにこれ！」

実は、あいうえおの表ひょうは1種類しゆるいではないのです……………

- ① 空あいているところの必要ひつようだと思おもう部分ぶぶんに
ひらがなを埋うめて、表ひょうを完成かんせいさせてください。



わらやまはなたさかあ
り みひにちしきい
る むふぬつすくう
れ めへねてせけえ
ろ もほのとそこお

- ② この表ひょうを、ふだん何なんと呼よんでいますか？

[五十音表ごじゅうおんひょう ・ あいうえお表ひょう ・ その他た ()]

←解説かいせつは次つぎのページで

「あいうえお表診断」 2017.6.11 初版 2017.8.11 第二版
発行 押井徳馬/はなごよみ (<http://osito.jp/minkana/>)

かい
解

せつ
説

ん

わ	ら	や
い	り	い
う	る	ゆ
え	れ	え
を	ろ	よ

わ	ら	や
を	り	ゆ
ん	る	よ
	れ	
	ろ	

わ	ら	や
	り	
を	る	ゆ
	れ	
ん	ろ	よ

ごじゅうおんひょう (げんだい か なづか ばん)
五十音表 (現代仮名遣い版)

- ・機能重視?
- ・縦横の位置で覚えるのが得意?

あいうえお表 (ひょう うえつ)
あいうえお表 (上詰め)

- ・すみっコがおちつく?
- ・広い空間を空けたい?

あいうえお表 (あいうえお ばんとうはい ち)
あいうえお表 (均等配置)

- ・見た目のバランス重視?
- ・順番で覚えるのが得意?

ん

わ	ら	や
(い)	り	(い)
(う)	る	ゆ
(え)	れ	(え)
を	ろ	よ

ん

わ	ら	や
ぬ	り	い
う	る	ゆ
ぬ	れ	え
を	ろ	よ

ごじゅうおんひょう (かっこ)
五十音表 (括弧つき)

- ・ダブリがあると気になる?
- ・二つの意見の間を取るのが得意?

ごじゅうおんひょう (でんとうてきはい ち)
五十音表 (伝統的配置)

- ・昔のものも大切に使う?
- ・理窟で考えるのが得意?

※この診断は半分くらいジョークです。当たっているかもしれないし、全く外しているかもしれませんが、まあそんなものです。

レア文字「ゐ」と「ゑ」の謎

皆さんは「ゐ(オ)」「ゑ(エ)」の字を見た事はありませんか。

・百人一首、犬棒かるた

・俳句、短歌

・古い店の看板

・人の名前

・昔の本や写真

今から七十年前までは、小学校の国語の授業でもこの二つの字を習っていました。この字を普通に使っていたからです。また、「を(ヲ)」で始まる言葉もありました。

ゐ (オ)

- ・ゐのしし(猪)
- ・ゐど(井戸)
- ・ゐなか(田舎)



ゑ (エ)

- ・ゑほん(絵本)
- ・ゑみ(笑み)
- ・ゑぼし(烏帽子)



を (ヲ)

- ・をとこのこ(男の子)
- ・をんなのこ(女の子)
- ・をどり(踊り)
- ・をはり(終り、尾張)



ん	わ	ら	あ	い	う	え	お
	る	り	か	き	く	け	こ
	を	る	さ	し	す	せ	そ
		ろ	た	ち	つ	て	と
			な	に	ぬ	ね	の
			は	ひ	ふ	へ	ほ
			ま	み	む	め	も
			や	い	ゆ	え	よ

「尋常小学国語読本 卷三」昭和3(1928)年、文部省発行 より



ともかく
まづ
凸凹黒兵衛の
あるアパートに
おちつくことに
しよう



おうい
黒兵衛
ゐるかア



ゐるぞオ
上つて来い

※まづ〓まず
ゐる〓いる

頓見當〓見當
獐惡〓獐惡
此食ふ〓食う
其思はなかつた〓思わなかつた
但掌
フハフハ〓フワフワ
許り
所謂
然も

のらくろ探検隊 田河水泡・画

昭和 14 (1939) 年 (大日本雄弁会講談社)



(第二)

夏目漱石

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたか頓と見當がつかぬ。何ても暗薄いじめじめした所でニヤ
 ー泣いて居た事丈は記憶して居る。吾輩はこゝで始めて人間といふも
 のを見た。然もあとで聞くとそれは書生といふ人間で一番癡悪な種族であ
 ったさうだ。此書生といふのは時々我々を捕へて煮て食ふといふ話である。
 然し其當時は何といふ考もなかつたから別段恐しいとも思はなかつた。但
 彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフッフハした感じが
 有つた許りである。掌の上で少し落ち付いて書生の顔を見たが所謂人間と

1

わがはい ねこ
吾輩ハ猫デアル

なつめ そうせき ちよ
夏目漱石・著

めいじ
明治 38 (1905) 年初版

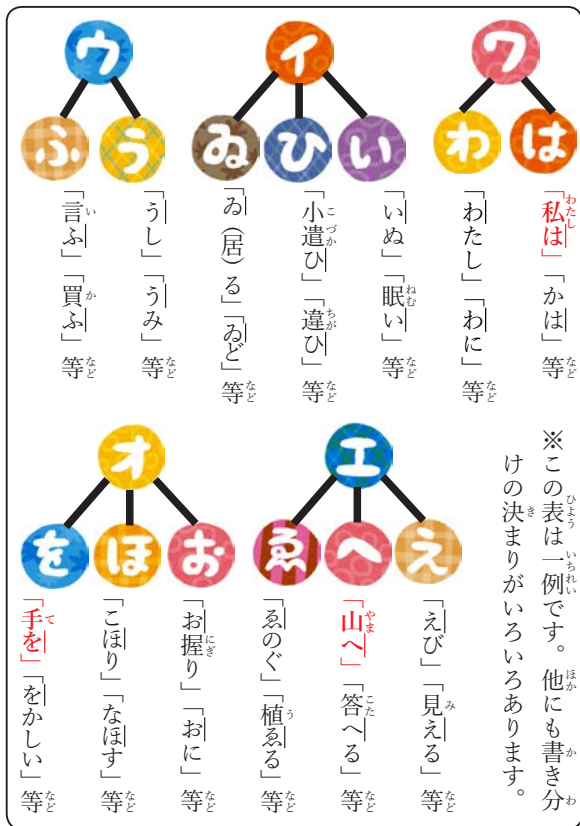
おおくらしよてん はつとりしよてん
(大倉書店・服部書店)

※中国や日本などでは昔から「當」は正式な漢字(正字)、「当」はそれを省略して書く時の字(略字)とみなされてきました。中国も日本も、現代の学校教育では略字の方だけ教えるようになりました。台湾や韓国の漢字は昔ながらの字のままです。

「言葉を見分けるもの」対「音を書き写すもの」

日本語のかな文字を書く時の決まりは、二種類あります。

・現代の学校で習う「現代仮名遣い」
 ・七十年前まで学校で教えられてきた「歴史的仮名遣(旧仮名遣とも)」
 「オの音は、『くつつきの』を」だけは『を』を、それ以外は『お』のよう
 に、同じ音に対するかなの書き分けを「仮名遣」と呼びます。



ひらがなを覚え始めた時、「どうして『くつつきの』を」だけ『を』と書くのか」と不思議に思ったか
 もしれませんが、慣れてくると、「を」と書く方が
 「言葉を見分けやすくなる」ことに気づきます。同じ
 ズの音でも、「ひき十する」は「ひきずる」、「き十つく」
 「きづく」と、言葉によってかなを書き分けると、や
 はり言葉を見分けやすいものです。

現代仮名遣いでは「くつつきの『は』『へ』『を』
 や「じ・ぢ」「ず・づ」の書き分けなどを残してそ
 の他はなくしてしまいましたが、歴史的仮名遣には、
 元々「仮名遣」の決まりがたくさんありました。あ
 まり読み慣れていないうちは、ちよつと難しく思え
 るかもしれませんが、慣れてくるとむしろ「言葉を見
 分けやすくなる」ようになります。俳句や短歌など、限られ
 た文字数の言葉でたくさんさんのことを表現したい時に
 は特に便利だと言う人もいますし、今でも歴史的仮
 名遣で俳句や短歌を詠む人が多い理由の一つです。
 でも、七十年前に小学校の国語の授業で歴史的仮
 名遣を教えなくなったのはどうしてでしょうか。実
 は明治時代から続く「戦い」があったのです。

「書き言葉には話し言葉と違う、書き言葉の決まりがある」
 「歴史的仮名遣は発音ではなく言葉を書き分ける決まりだ」
 「漢字も仮名遣も残せ」

「言葉を簡単にし過ぎると複雑な事が考えられなくなる」
 「書き言葉の決まりはなるべく長持ちさせるべき」

「完璧主義をやめよう」
 「専門家も他の人も同じ国語で書けた方がいい」

「こんな論争が昭和時代まで（今も？）続きました。そして結局のところ、七十年前に「両方の意見の間を取った」のです。漢字を一八五〇文字だけ残し、仮名遣も一部残した以外は大体左の意見に基づく、新しい漢字表や仮名遣が作られました。」



「話し言葉だけが本当の言葉、書き言葉はそれを写し取る道具」
 「漢字も仮名遣もなくせ、発音通り『ワタシワ ヤマエ イク』とか『Watashi wa yama e iku』と書く方が簡単だ」
 「言葉は簡単にした方がタイプライターで書けるし便利だ」
 「歴史的仮名遣は古くさい」
 「言葉の決まりは所詮人間同士の決め事、どんどん変えていい」
 「完璧に覚えられないくらいなら、決まりなんてなくそう」
 「難しい書き方は庶民には無理、専門家に任せよう」

「言葉は何の道具？」



コミュニケーションの道具



表現の道具



記録・保存の道具



思考の道具

「言葉はコミュニケーションの道具だし、読みづらい人に配慮して歴史的仮名遣は遠慮すべきだ」と言う人がいます。確かに学校の授業や会社を含めた共同作業などでは周囲に合わせた方が良いでしょう。しかし言葉は「思考の道具」「表現の道具」「記録・保存の道具」でもあります。歴史的仮名遣による昔の本から「知らない事を学べる喜び」があります。「古文ではなく現代の言葉として、歴史的仮名遣で俳句や短歌その他文章を書く」事も自由です。もし機会があれば挑戦してみてください。言葉は専門家だけのものではなく、みんなのものです。」

補足説明

「仮名遣」とは、イの発音に対するい・ひ・み、ズの発音に対するず・づ等、「仮名の書き分け方」の事です。

一方、「文語体」「口語体」は文体の種類です。

文語体……千年以上昔から使われてきた書き言葉の文体

口語体……明治時代以降普及した、より話し言葉に近い文体

現在は「現代仮名遣い」は口語体専用、歴史的仮名遣は文語体専用」とみなされがちですが、戦前は「口語体を歴史的仮名遣で書く」事が普通に見られました。

「歴史的仮名遣」も「文語体」も必ずしも古語ではありません。特に俳句や短歌の世界では現役の言葉です。

歴史的仮名遣	文語体	口語体
現代仮名遣い	働かざる者食ふべからず	働かない者は食ふな
	働かざる者食うべからず	働かない者は食うな

戦後の国語改革では両方が同時に変わったので混同しがちです	歴史的仮名遣	現代仮名遣い
すが、「旧字・新字」は漢字の問題、「歴史的仮名遣(旧仮名遣)・現代仮名遣い(新仮名遣)」は仮名の書き方の問題です。	学校に來てゐるのでせう	學校に來てゐるのでせう
	學校に來てゐるのでせう	學校に來てゐるのでせう

お悩み解決にこの一冊

大学生の皆さん、旧字で書かれた文献をコンピュータで書き出す時、文字コード表から漢字を一文一文字一文一文字探して苦労して入力していませんか。

俳句や短歌の同人誌を作成している皆さん、仮名遣がいつもうまく変換されないの、毎回消して書き直していませんか。戦前の書籍の復刻版やレトロな旧字旧仮名による作品の組版をがんばっている皆さん、一部の文字が旧字にならず新字のままだったり、新字から旧字に直す作業でお困りではありませんか。

旧字旧仮名による同人誌を定期的に発行しているサークル「はなごよみ」の主宰者が、これまでの経験をもとに、コンピュータで旧字旧仮名文書を入力する方法を紹介します。WordやInDesignやTeX等様々なソフトを網羅しています。

ダウンロード版は無料です。冊子版もあります。

<http://osito.jp/dojin/> #66。

「コンピュータによる
旧字旧かな文書作成入門」

押井徳馬著
はなごよみ

<http://eb.osito.jp/mf1a/>

